

平成22年 8 月 3 1 日

関係大学長
関係大学学部長 殿
関係機関の長

北海道教育大学副学長（旭川校担当）
八重樫 良二
（公印省略）

教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学旭川校では、下記要領により教員を公募することになりました。

つきましては、貴大学等関係者に御周知いただくとともに、適任者を御推薦くださいますようよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

- 1 講座等名
教育発達専攻
- 2 職名及び人員
教授又は准教授 1名
- 3 専門分野
学部 教育史又は教育哲学
大学院 教育学・教育史
- 4 資格
大学院修士課程において、大学院生の研究指導又は研究指導補助ができる者
教育の現実的課題に対応でき、教育実践に対して見識を有する者
- 5 年齢
特に問わない（ただし、本学の定年は65歳である）
- 6 担当予定授業科目
学部 教育の基礎と理念，教育史・教育哲学特講，教育史・教育哲学演習Ⅰ及びⅡ
教職実践演習，その他大学が必要とする科目
大学院 教育史特論又は教育学特論，教育史特別演習又は教育学特別演習
教育実践研究，課題研究
- 7 採用予定年月日
平成23年 4 月 1 日
- 8 公募締切日
平成22年 1 1 月 4 日（木） 必着

9 提出書類

- (1) 経歴書（北海道教育大学教員選考規則別記様式第5号） 1部
- (2) 研究業績書（同規則別記様式第6号）。主要学術論文等の概要を添付すること。 1部
- (3) 研究業績書に記載したすべての著書・学術論文等 各1部
（複写物可。複写物には、発行者、発行所が含まれるようにして下さい。）
- (4) 教育上の業績（同規則別記様式第7号） 1部
- (5) 管理運営に関わる貢献（同規則別記様式第8号） 1部
（「原則として、採用時の選考には記入を要さない」とありますが、大学等に在職する方はご記入下さい。）
- (6) 社会的活動に関わる貢献（同規則別記様式第9号） 1部
- (7) 学校教育を中心とした教育への深い理解と関心（同規則別記様式第10号） 1部
- (8) 主要担当予定科目の授業計画（同規則別記様式第11号） 1部
「教育の基礎と理念」「教育史・教育哲学特講」「教育史・教育哲学演習Ⅰ」
- (9) 大学院における担当授業科目の概要（同規則別記様式第12号） 1部
「教育史特論」，「教育学特論」のいずれか一つ。

※様式は<http://www.asa.hokkyodai.ac.jp>からダウンロード可能です。ダウンロードできない場合は、北海道教育大学事務局旭川校室総務・附属学校グループ(TEL 0166-59-1201)へお問い合わせ下さい。

上記のほか、独立行政法人科学技術振興機構の研究者人材データベース<http://jrecin.jst.go.jp>からもダウンロードできます。

10 応募書類提出先及び問い合わせ先

(応募書類提出先) 〒070-8621 北海道旭川市北門町9丁目
北海道教育大学 副学長（旭川校担当） 八重樫 良二 宛

(問い合わせ先) 北海道教育大学旭川校選考委員会委員長 内島 貞雄
TEL&FAX 0166-59-1370
E-mail : uchijima@asa.hokkyodai.ac.jp

(給与等に関する 北海道教育大学事務局総務部人事課人材開発グループ
問い合わせ先) TEL 011-778-0216
E-mail : j-jinzai@sap.hokkyodai.ac.jp

11 その他

- (1) 提出書類は「書留」とし、表に「教員公募（教育史又は教育哲学）関係書類在中」と朱書きして下さい。
- (2) 選考結果については、副学長から直接本人宛にご連絡致します。
- (3) 提出された著書・学術論文等は審査終了後返却致します。
- (4) 候補者については面接を行います。その際の旅費等は支給されませんので、あらかじめご了承願います。
- (5) 本学は、男女共同参画に配慮しており、女性の積極的な応募を期待します。
- (6) 英語を用いてコミュニケーションができる応募者については、「9 提出書類」に示す書類のほか、語学力の参考として「語学力（英語）質問事項」を提出してください。様式のダウンロードは提出書類と同様です。
- (7) 旭川市或いはその近郊に居住いただくことになります。
- (8) 必要に応じて、他のキャンパスの授業を担当することがあります。
- (9) 大学の運営状況の変化等により、将来、主たる勤務地が変更になる場合があります。
- (10) 提出書類の個人情報については、この選考のみに使用します。

公募については、北海道教育大学教育学部旭川校<http://www.asa.hokkyodai.ac.jp/>及び独立行政法人科学技術振興機構の研究者人材データベース<http://jrecin.jst.go.jp>にも公開されています。